



# 第41回福祉を考える集会

みんないっしょになかよく  
～これも地域共生社会？～

6.2.17(土)開催

意見シートのまとめ

※項目間でNoを統一してあります。  
Noが同じ場合は、同じ方からのご意見です。

問1 居住地区 / 問2 性別

No	①上片桐	②上大島	③名子	④上新井	⑤古町	⑥福与	⑦部奈	⑧生東	⑨その他	未記入	備考
1									1		川路
2	1										
3				1							
4		1									
5									1		高森町
6		1									
7	1										
8								1			
9	1										
10							1				
11						1					
12			1								
13						1					
14									1		飯田市
15							1				
16			1								
17							1				
18							1				
19			1								
20				1							
21			1								
22			1								
23		1									
24			1								
25	1										
26		1									
27									1		町外
28				1							
29				1							
30								1			
31						1					
32		1									
33			1								
34			1								
35							1				
36				1							
37	1										
38	1										
39				1							
40	1										
41				1							
42	1										
43				1							
44								1			
45			1								
46				1							
47						1					
48	1										
49			1								

No	男	女	未記入
1	1		
2		1	
3	1		
4		1	
5		1	
6		1	
7	1		
8		1	
9	1		
10	1		
11		1	
12		1	
13		1	
14	1		
15		1	
16	1		
17	1		
18	1		
19	1		
20		1	
21		1	
22		1	
23		1	
24	1		
25	1		
26		1	
27		1	
28		1	
29		1	
30	1		
31		1	
32		1	
33	1		
34	1		
35			1
36		1	
37		1	
38		1	
39	1		
40		1	
41		1	
42		1	
43		1	
44		1	
45	1		
46	1		
47		1	
48		1	
49		1	

問1 居住地区 / 問2 性別

No	①上片桐	②上大島	③名子	④上新井	⑤古町	⑥福与	⑦部奈	⑧生東	⑨その他	未記入	備考
50			1								
51			1								
52	1										
53					1						
54						1					
55				1							
56			1								
57	1										
58	1										
59		1									
60									1		高森町
61						1					
62						1					
63	1										
64										1	
合計	13	6	13	10	1	7	5	3	5	1	

No	男	女	未記入
50		1	
51	1		
52		1	
53		1	
54		1	
55	1		
56	1		
57		1	
58		1	
59		1	
60		1	
61	1		
62		1	
63		1	
64		1	
合計	22	41	1

問3 年齢

問4 『地域共生社会』という言葉をご存知ですか？

問3								
No	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	未記入
1						1		
2						1		
3						1		
4							1	
5							1	
6				1				
7						1		
8						1		
9						1		
10							1	
11				1				
12						1		
13					1			
14						1		
15					1			
16						1		
17						1		
18							1	
19							1	
20							1	
21			1					
22							1	
23							1	
24							1	
25							1	
26							1	
27					1			
28		1						
29		1						
30					1			
31						1		
32						1		
33					1			
34					1			
35					1			
36					1			
37						1		
38						1		
39					1			
40						1		
41							1	
42							1	
43							1	
44						1		
45							1	
46							1	
47					1			
48							1	

問4			
No	①よく知っている	②なんとなく知っている	③知らない
1			1
2		1	
3		1	
4	1		
5		1	
6		1	
7		1	
8	1		
9		1	
10		1	
11			1
12		1	
13			1
14		1	
15		1	
16		1	
17		1	
18		1	
19		1	
20		1	
21	1		
22	1		
23		1	
24		1	
25	1		
26		1	
27	1		
28	1		
29		1	
30	1		
31		1	
32	1		
33		1	
34		1	
35			1
36		1	
37		1	
38		1	
39	1		
40		1	
41		1	
42		1	
43	1		
44		1	
45	1		
46	1		
47			1
48	1		

問3 年齢

問4 『地域共生社会』という言葉をご存知ですか？

問3								
49						1		
50							1	
51						1		
52						1		
53							1	
54							1	
55						1		
56				1				
57				1				
58						1		
59							1	
60						1		
61						1		
62						1		
63							1	
64				1				
合計	0	2	1	5	10	24	22	0

問4			
49	1		
50		1	
51	1		
52		1	
53		1	
54	1		
55		1	
56		1	
57	1		
58	1		
59		1	
60			1
61		1	
62	1		
63	1		
64	1		
合計	22	36	6

問5 事例発表、地域福祉時事報告の感想をお書きください。①・②・③

No	①私たちにできる小さな活動 ～松川北小学校～ 【発表者】松川北小学校 代表 委員会・大久保咲希さん	②手話でつながる 【発表者】ボランティア連絡会 北原紀子 氏	③「みんな仲良く」を実践する おばちゃんと中学生の交流 【発表者】福祉を考える会 佐々木孝子 氏
2	<p>ペットボトル集めという実際の行動を実施した事で、福祉等、見聞だけでは得られない考えや、実感を受容できた事は本当に有意義と思うし、子供の時にそういった感覚を養えた事は素晴らしいと思いました。ボランティア体験もちょっとしたきっかけや大人の後押しが大切なのではと思いました。机上の学びだけでは不十分ですね。</p>	<p>学生の頃、手話に触れる機会があり「森の熊さん」等、歌を手話で楽しんだ事を思い出しましたが、何十年も経った今、全く覚えていない事に、心から手話の意義を考えていなかったのだと反省しています。この感覚では、全ての福祉についても表面しか見られないのではとも感じました。助け合いながら生きて行く事の難しさですね。しかし、たとえ浅くなっても、少しでも支え合えるなら、それも大切、必要とも思います。</p>	<p>声掛けというのは勇気が必要です。時代的背景もあり難しいと感じますが、自分がこえかけられたら、たぶん嫌な思いよりうれしさの方が大きいと思います。そう思えば、もう少し声掛け等、人への働きかけのハードルを自分で下げるのも大切なのでしょうね。</p>
3	<p>大人顔負けの活動ですばらしい。</p>		
4	<p>この年齢から本日のような取り組みをされていると、今後も福祉について考えるきっかけになるかと思っています。</p>	<p>手話の取り組みが広がれば…と思います。</p>	<p>どんなにか子どもさんが助けられているかと思っています。</p>
5	<p>お子さんの頃よりボランティア活動を知り、行動する事の大切さを感じました。</p>	<p>町内(高森)でなかなか手話を見る(?)機会もなく過ごしてきました。もっと気楽に手話を考えても良いかな、と思いました。</p>	<p>「どんな人とも仲良くする」はなかなかできませんが、実践していっしょって頭が下がります。これからも良い意味での「おせっかい」を。</p>
6	<p>○ペットボトルのキャップ集めを通じて、町の活動に参加する事をきちんと、目的、目標をもって、取り組んでいて、しっかりしているなと思いました。 ○小学生のうちから、積極的にボランティア活動に参加出来る事が、すばらしいと思いました。</p>	<p>手話となると、身がまえてしまいうけれど、一度、体験してみたいなあと思います。我家にさくらんぼ狩りに来てくれた、聴覚障がいの方は、とても積極的で、身振りや筆談で、さくらんぼ狩りの方法を理解し、楽しそうに、さくらんぼ狩りを楽しんでくれました。障がいあるからと、からにこもるのではなく、自分から、外に出て行く事が大切だと思います。</p>	<p>昔は、世話やきな、近所のおばさんがいっぱいいたけれど、今は、少なくなってきてしまったなあと思います。</p>

問5 事例発表、地域福祉時事報告の感想をお書きください。①・②・③

No	①私たちにできる小さな活動 ～松川北小学校～ 【発表者】松川北小学校 代表 委員会・大久保咲希さん	②手話でつながる 【発表者】ボランティア連絡会 北原紀子 氏	③「みんな仲良く」を実践する おばちゃん和中学生の交流 【発表者】福祉を考える会 佐々木孝子 氏
7	生き生きした発表でした。ペットボトルのキャップを北小で集めていることを今日の発表をお聞きして初めて知りました。夏休みのアルミ缶の回収には協力していますが、ペットボトルキャップ集めへの協力ができなくてすみません。	住んでいる家の近くにろうあの方が居られて、手まねであいさつしていますが、手話の必要性は感じつつもできていません。	地域の中には素晴らしい人が自然な交流の中生きていることを間接的ながらお伝えいただきました。
8	体験する事、やってみる事 大事と思いました 続けていける事 サポート等大事	楽しくできる事で学べると思いました よこのつながり地域での声かけ 大事ですね	
9	小学生が自主的に始めた事は良いと思う。 これからも続けて行ってほしい。	手話をもっと身近になる様になりたい	一歩間違えればうるさがられるが、今回の場合は互いに良い結果になって良かった。
10	小学生で社会に役立つ取り組みを実践している事は素晴らしいです。 今後も継続してもらえれば	一般の人はなかなか手話に取り組むにはきっかけが必要だ。	心温まる発表でした
11	人とのコミュニケーションを社会に出て少し体験できて本人の中で変わって、良い体験が積めて本人も周りにも良い影響があるのが知れてよかった。	私も手話を間近で見せて頂くまでは遠いイメージでしたが、実際に自分も少しでも出来たら、人の為に役立てるのかなと感じました。	
12		手話には大いに興味はありますが機会がありません。 10/1行ってみたくかったです。	「おせっかいをやく人」は貴いしありがたい
13	ふだん自分は、プラゴミとしてキャップを捨ててしまっていたので何てもったいない事をしてたのかと反省をしました。子供たちの活動を見ならっていきたいと思う		

問5 事例発表、地域福祉時事報告の感想をお書きください。①・②・③

No	①私たちにできる小さな活動 ～松川北小学校～ 【発表者】松川北小学校 代表 委員会・大久保咲希さん	②手話でつながる 【発表者】ボランティア連絡会 北原紀子 氏	③「みんな仲良く」を实践する おばちゃんと中学生の交流 【発表者】福祉を考える会 佐々木孝子 氏
14	ボランティア活動で自分が変わる、新しい自分になれるということが素晴らしい。	手話は本など見て覚えるより、一緒にやる方が覚えやすいと思った。(小学生もチャレンジしてみたい。)	「おせっかい」というひびきはマイナスのイメージがあるが大事なことだと思う。みんながかわりをなくしたら寂しいと思う。
15	生徒の方は人との関わりができた、ボランティアの輪に入れたと思える 思えた、しっかりした意見が言えてすごいな～～と感じました。	手話教室 とってもきょうみあります。手話おぼえたら楽しそう、昔とちがいがい、みんな仲良くなが大事！！	今の時代 周囲との関係が希薄になっている事が多い中この様な交流ができる事はとてもステキな事だと思います。
16	具体的な体験がとても大切だということをおしえられた。	私も手話を習ってみたくなった。	
17		手話をむずかしいと感じられていた方々が 大沢さんと出会って手話が楽しいとまで言わしめたとは素晴らしいです。まずは第一歩からですね。佳子さまから発信される手話活動の報道が行き渡るといいなとおもったりもします。	
18	活動の場が与えられると子供は成長できる。特に人間関係のめんでの成長が大きいと感じた。	コロナ禍でマスクにより意志を伝える手段が増えることは望ましい。更にはIT等の活用により障がい者の活動の場が広がることを期待したい。	誰でもできることではないが、自分のできることをできる範囲で始めることが大切だと思わされた。
20	自然にやさしい松川町を目標にしている。とても頼もしく思います。人と人とのつながりとても大切	年齢的にも覚える事が出来るかな？と思いますが少し勉強してみたいと思います	声かけから始まる とても同感です 自分ももっと勇気を出したい

問5 事例発表、地域福祉時事報告の感想をお書きください。①・②・③

No	①私たちにできる小さな活動 ～松川北小学校～ 【発表者】松川北小学校 代表 委員会・大久保咲希さん	②手話でつながる 【発表者】ボランティア連絡会 北原紀子 氏	③「みんな仲良く」を实践する おばちゃんと中学生の交流 【発表者】福祉を考える会 佐々木孝子 氏
21	「顔を合わせることはできなくても、活動を通して町がつながる」という児童会長さんの言葉が印象的でした。 工夫ややり方で、地域がつながれる活動や可能性が広がると感じました。	私も、ろうの方とお会いした時、伝えたいことが伝えられず悔しい思いをしました。 コミュニケーションのツール、スキルとして自分もぜひ手話を覚えたいです。	「気にかける」「話しかける」世代や国籍を問わず。それが大事。シンプルだけど難しくもあって、これから必要だと感じました。頭が下がります。
24	楽しく出来て良かったネ		
25	子供の姿から学ぶことがおおかった。大人以上の思いがあるきがしました。 音声聞き取りずらく残念でした。	体験して初めて知る。	・本人の話が聞きたかった。残念。 ・取材にいった方の思いも話された方が良かった。
26	素晴らしい活動だった	地域の活動の素晴らしさ	
27	ペットボトルキャップ集めは多くの学校で取り組んでいますが、子ども達にとって福祉を意識できる様な取り組みにしているところが素敵だと思いました。	当事者から学ぶ会 だったので、ジェスチャーで伝わることも多い という感想が印象的でした。	ボランティアという形にならない個人の関わりに着目し発表されたことが新鮮でした。自分にもできることがあると思える発表でした。
28	校内で完結するのではなく、町・社協とも協働した活動ですばらしいと感じた。 子どものうちより、町の取り組みを知って関わりを持ったり、自分たちのできることをして自信をつけることは、非常に重要と思う。	楽しみながら、知らないことを知れるのは有意義なものと感じた。	肩ひじはらず、一番手軽にできるボランティアが声かけであると感じた。安心して話せる地域の関係づくりが基盤になるように思う。
29	小さな活動も大きな成果につながるなあと思いました。	手話を使えるようになることで、コミュニケーションスキルが磨け、多くの人と『会話』できるようになり、さらなる人と人とのつながりができていく、良い活動だなあと思いました。	『声かけ』は時に『お節介』とも捉えられるけれども、その『お節介』こそが人と人をつなぐのだと感じました。

問5 事例発表、地域福祉時事報告の感想をお書きください。①・②・③

No	①私たちにできる小さな活動 ～松川北小学校～ 【発表者】松川北小学校 代表 委員会・大久保咲希さん	②手話でつながる 【発表者】ボランティア連絡会 北原紀子 氏	③「みんな仲良く」を実践する おばちゃんと中学生の交流 【発表者】福祉を考える会 佐々木孝子 氏
30	立派な思いを持って小学生で感心しました。子供でもそのような思いを持っていることを知ることができました。	大澤翔さんのバイタリティや明るさがヒントであり、キーワードなのかなという気がします。	なかなかムズカシイですが、隣の人、近所の子供、などなどちょっとした声掛けて大切ですね。
31	子どもたちがいろんな事にかかわる事で、いろんな気付きを実践していくことは大切だと思いました。	手話を覚えて行動できることはすばらしいことだと思います。	学生と年配者がかかわることの大切さや優しいかわりは良いと思います。
32	とっても立派な発表でした。もう少し広く、いろいろな事を知るには、 ・どんな病気に対するワクチンなのか ・どの国の病気で、どんな状況なのか まで、今後学習することも大切だと思います。	私も手話に対しては、“むずかしい”という気持ちですが、明るく素直に、挨拶、お声がけすることが第一歩であることを学ぶことができました。	いろいろな障壁を乗り越え、素直な気持ちで明るく発する言葉・挨拶が人と人をつなげる、大事なことを気づかせてくれた。
33	子どもは個数で大人は重さでペットボトルキャップを数量化している。無駄を減らして、重さだけで量を評価すればいいのでは？子どもの頃から効率化について学んだ方が良くと思う。	あまり馴染みがないですが、体験してみるっていいですね。	こういう事例が当たり前になるといいですね。まずは声かけ大事ですね。
34	・ペットボトルキャップ集め→貢献できた 210kg 63人分のワクチン 一過性のイベントで終わらせてないか？「町」でもできる。 →ビン、ペットボトル回収と一緒にやれば？負担が少なくできると思う。	身近→普通、あたりまえ 特別ではないモノにしていく	
35	何でもそうですが、始めてみようという気持ちが大切だと思います。楽しみながら続けられて良かったですね。	普段手話で交流することがないですが。	今の時代、他人の事を世話をやく人が少なくなってきた感じがします。また、若人も世話してもらおう事を嫌がっている気がします。

問5 事例発表、地域福祉時事報告の感想をお書きください。①・②・③

No	①私たちにできる小さな活動 ～松川北小学校～ 【発表者】松川北小学校 代表 委員会・大久保咲希さん	②手話でつながる 【発表者】ボランティア連絡会 北原紀子 氏	③「みんな仲良く」を実践する おばちゃんと中学生の交流 【発表者】福祉を考える会 佐々木孝子 氏
36	子どもたちのやる気を支えることが大切だと思った。	手話を必要とする人が周りにいなくて、それに対する意識が低いなと思った。	外国から来ている方に会うことがないことに気づいた。
37	自ら動いて1つのきっかけから自分自身も変わることができたり、地域のこと、福祉のことなどを考えることができたことは、彼女自身にとって、とても有意義な体験だったと思います。	聴覚障害のある人と、実際に関わると手話などの大切さや意味がよく分かり、積極的に自分も勉強しようと思うでしょうが、今の所、そのような機会がないため、取り組みに対して消極的になってしまいます。	「声かけ」の大切さは、ことある機会を感じます。“おせっかい”おばちゃんに自分もなっていきたいと思いました。(相手の迷惑にならない程度で…)
38	子どもさんの活動を、代表委員会の方からお話を聞くことができ、時々笑いも出たり、とてもよかったです。	手話は以前学んだことがあり、思い出されました。	こういった事例を聞き、嬉しい気持ちになりました。このような「おばちゃん」の存在、大事だと思います。
40	町でやっている事を知ってすぐに実行に移す事がすごいと思った。小さな子(事)でも、人の役に立っている(役割がある)という事が体験できてよかった。それがこれからも何か続けていかれるきっかけになると思う。	まずは知る事、これが一番大事な事だと思った(でも難しい)。やっぱり使っていないと忘れてしまう。“ありがとう”だけは覚えている。	何かとやたらに声かけできない世の中になっているが、ちょっとしたきっかけからつながりができていくと思う。
41	子どもがボランティアに参加し、人のためになるということを感じることは、とても大切なことで良いことだと思います。	手話講習会は、とても興味深く、ぜひ大澤さんの講習会を開いて欲しいと思います。(公民館事業としても)	誰にでも、まずこちらから挨拶をして声をかけることは、常に大切と思っています。
42	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小さなペットボトルが、子どもたちの心には大きなものが残せたと思う。</li> <li>・勇気を持って初めてボランティアに参加したことに拍手！どちらも次につなげてほしい。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・昔の世話焼きのおばちゃんも今は相手を思いやりながらの世話焼きに。温かい気持ちになります。</li> <li>・一言の声かけが大切だと思います。</li> </ul>

問5 事例発表、地域福祉時事報告の感想をお書きください。①・②・③

No	①私たちにできる小さな活動 ～松川北小学校～ 【発表者】松川北小学校 代表 委員会・大久保咲希さん	②手話でつながる 【発表者】ボランティア連絡会 北原紀子 氏	③「みんな仲良く」を実践する おばちゃんと中学生の交流 【発表者】福祉を考える会 佐々木孝子 氏
43	マイクが良くなくてか、聞き取りにくく内容が良くつかめませんでした。言葉が広がってしまっただけ。今後ご検討を！	長い間の継続されている活動に感服しました。	大変良い事例でした。
44	素晴らしい子どもたちからの、感動をありがとうございました。今日参加して良かった。		
46	小学生が小さなペットボトルキャップを集めてそのことが多くの命を救うことができることに感動したことが大人へ成長していく中で大きな力になると思う。		
47	これなら自分にもできると思える事を小学生の頃からやり、福祉の大切さを知り、かかわれるのは良い事だと思った。	私も手話は難しそうという思いがあります。体験をするきっかけがあると身近に感じられるかもと思った。	人と接する事が少なくなっている中で年の差がある2人のやりとりがほっこりとする。
48	小学生に福祉の心が芽生えておりうれしい事だ。継続できるように関係者は頑張してほしい。		
49	小さな活動の積み重ねが大切だと思います。この活動を続けてほしいです。	手話を学ぶ機会が無いのでチャンネル・ユーでも教室があると良いですね。	地域に必要なおばちゃんですね。松川町にこんな素敵な人がいることがうれしいです。報告ありがとうございました。

問5 事例発表、地域福祉時事報告の感想をお書きください。①・②・③

No	①私たちにできる小さな活動 ～松川北小学校～ 【発表者】松川北小学校 代表 委員会・大久保咲希さん	②手話でつながる 【発表者】ボランティア連絡会 北原紀子 氏	③「みんな仲良く」を実践する おばちゃんと中学生の交流 【発表者】福祉を考える会 佐々木孝子 氏
50	お話されることがしっかりされて おり驚きました。これからの 成長が楽しみです。と同時に自 分自身もできる事はやろうと 日々思っています。	実際に体験して知ることの大 切さ！手話ができなくても身 振り手振り、ジェスチャーで伝 わることがあることが分かっ た…と言われていた事が印象 的でした。	みんな仲良きの鍵は、「声か け」から始まる。そう思いま すが声かけには少し勇気がい りますね。
51	生徒さんの活動を通じて得た 事や想いは大切な事です。1人 でも多くの子供達に活動を 広げてほしいと思います。 子どもは地域の宝です。	人と人のつながりには、まずコ ミュニケーションから。場合 に応じた手段と「他人に助けて と告げる事」から始まる。	・おばちゃんの「コミュニケー ション力」すごいな。でも、「人 を想いやる心」がベースにあ るから。
52	子ども達が自然な形で福祉に 関わる事ができていてすばら しいと思った。	難しいと思い込んでいたが発 表を聞いて私もふれてみたい な、脳トレになるかなと思った。	心温まる交流が自然にできて いる。これが広がっていったら いいなと思う。
53	子ども達が生き生きと協 力して活動していてすばら しい。本当に良いことをして おられますね。目標に向か って活動することに子ども さんが良かった！と思っ てくれていてうれしく思 います。 咲希ちゃん:1人でもボラン ティアに参加してくれてす ごい。中学生になっても自 分以外に目を向けてくださ いね。 【マスクとってほしかった (声をはっきり)】	手話の会の良かったことを 言っていたら、再び会が開 かれるとよいですね。実際、 手話の発表では緊張したけ れど(10/1)だんだん楽しく なりましたね。	よい交流ができていたことを 教えていただきました。素 敵ですね！ちょっとだけゆ っくり話してほしかったです。
54	マスク越しのお話は聞き取 りづらい(特に映像の中 では)、マスクなしでの工 夫を…		

問5 事例発表、地域福祉時事報告の感想をお書きください。①・②・③

No	①私たちにできる小さな活動 ～松川北小学校～ 【発表者】松川北小学校 代表 委員会・大久保咲希さん	②手話でつながる 【発表者】ボランティア連絡会 北原紀子 氏	③「みんな仲良く」を実践する おばちゃんと中学生の交流 【発表者】福祉を考える会 佐々木孝子 氏
56	小学生による活動発表すごく良かったと思います。インタビュー形式も良かったです。大人も負けていられないなと感じました。	手話を少しでも勉強すれば、耳の聞こえない方とのコミュニケーションがより身近なものになると感じました。楽しそうに学んでいる画像が印象的でした。	声かけによる成功の話(良い話)を聞いた事は、声をかける事の勇氣になると感じます。もっとたくさんの成功した話をお聞きしたいです。良いお手本(モデル)になると感じます。
58	ペットボトルキャップ集めから、ひとつの事に対して町全体が協力して成し遂げられるとか環境に良い自然に優しい松川町になったらいいと子どもさん達からの声に考えさせられました。	貴重な体験が楽しくできた様子がよくわかりました。これからも何かみんなのできる事で、つながりが生まれるといいですね。	みんな仲良くのカギは「声かけ」。重要だと思いました。
59	4人の子どもたちのはきはきとした発表とこれからも人の役に立つ活動を続けたいとうまじめに体験することの大切さを感じた。社協のぶちボランティア体験を広げてほしい。	地元で育ち、成人した青年からの学習は今までになかったと思える。とても新鮮。それぞれが地域がつながることの表れ。	外国からの方に限らず、互いの声かけを気軽に行うことを重ねていく気持ちを持ち、少しずつ実践していきたい。
60	今の子どもたちは部活や塾で忙しいとニュースで聞いています。そんな環境の中でも「ペットボトルキャップ集め」に参加してもらい、1つ1つのキャップを数えるのは大人でも大変なのに、工夫しながら周りに声をかけて、たくさんのキャップを集めることができたのはすばらしい活動だと思う。この行動をきっかけに町の福祉活動に興味を持ち、実践していくことが皆が助け合える共生社会にもつながると感じました。「エコロジーで環境にも良いと思った。最初は大変だけどやってみたらやりがいがある」	「手話」というと難しいイメージだったが、大澤先生のわかりやすく、楽しい説明でイメージが変わったと聞き、1人でも多くの方が「手話」を身近に感じてもらえれば大澤先生の役割はとても大きいと感じました。自分も一度体験してみたいと感じました。	今回本人に会えなかったのは残念ですが、年齢差のある子どもに声をかけて、最初は戸惑っていた子どもがだんだん心を開いていくさまが目に見えました。

問5 事例発表、地域福祉時事報告の感想をお書きください。①・②・③

No	①私たちにできる小さな活動 ～松川北小学校～ 【発表者】松川北小学校 代表 委員会・大久保咲希さん	②手話でつながる 【発表者】ボランティア連絡会 北原紀子 氏	③「みんな仲良く」を実践する おばちゃんと中学生の交流 【発表者】福祉を考える会 佐々木孝子 氏
62	<p>・「命を救えることができ良かった」という感想が小学生の皆さんから聞いて良かったです。</p> <p>・手作業で数えてくださり、(210kg)63人分のワクチンとなり、素晴らしい。</p> <p>・町の方と同じ取り組みができたことが良かった。何かに役立つエコロジーの活動にも感銘を受けた。小学生の皆さんが頼もしく見えました。</p> <p>・夏休み体験:人と人とのつながりを体験して、ボランティアの入り口が分かっていただけで良かったです。遊ぶ場所が増えて、にぎやかな町になってほしい。(最後部で聞きましたが、聞きづらかったです。録音の工夫を！)</p>	<p>・会話を楽しむ、大澤さんの印象と手話に対する考えが変わった。初めての手話体験を発表していただき、大変ためになりました。互いの理解を深めることが重要！</p>	<p>・あたたかいおばちゃんの交流、ほっこりしました。</p>
64	<p>子ども達の表情がとてもいきいきと誇らしい様子がとても印象的でした。役割としてやりがいを持って活動している姿はいいですね。</p>	<p>言葉とか手話とかコミュニケーションツールが大切なのではなく、話をしたり、相手を知りたい、その気持ちが一番大切と考え深いものがありました。</p>	<p>日々の声かけが「仲良きの鍵」という部分に深く考えさせられました。</p>

問5 事例発表、地域福祉時事報告の感想をお書きください。④・⑤

No	④地域共生社会とボランティア 【発表者】松川町社会福祉協議会 地域ボランティアセンター 佐々木彩乃 氏	⑤第5次松川町地域福祉活動計画について 【発表者】松川町社会福祉協議会 地域ボランティアセンター 鈴木勇哉 氏
2	実際町で行われている事や、内容を知ることができました。広範囲で告知していく事も大切ですね。	
3	自治会の担い手不足も課題になっている。	
4	「課題」については納得です。忙しい若い方々の状況を見ると「ボランティア」の増員も？むずかしいですね。	今後にも期待したいです。
5	コーディネーターとして大変なお仕事をされていると感じます。お若く、新しい発想ができると思います。頑張ってください。	
6	・おもちゃ図書館・ゆきわり草・あいむ、以外にも、色々な団体が活動していて、もっと多くの方に、してもらえたら。	
7	日常的ボランティア活動には参加できませんので皆様のお取り組みに感謝致します。	この報告も話し合いの前に入れてほしかった。
8	後継者が無いのが 次へ継続していくには大変大きな課題と思われま 地域の差が大きいかかえている課題もさまざまです	アンケート結果 良い結果多かった
9	たくさんのボランティアがあり、子供から高齢者までボランティアがあり、たのもしく感じた。	
12	ボランティアの高齢化が問題 できることをできる時間に	

問5 事例発表、地域福祉時事報告の感想をお書きください。④・⑤

No	④地域共生社会とボランティア 【発表者】松川町社会福祉協議会 地域ボランティアセンター 佐々木彩乃 氏	⑤第5次松川町地域福祉活動計画について 【発表者】松川町社会福祉協議会 地域ボランティアセンター 鈴木勇哉 氏
14	自分ができるボランティアがあるか探してみたい。	
15	ゆきわり草、はじめて知りました。高齢者の方はうれしいでしょうね、1人暮らしの高齢の方も増えているので、くわしく知りたいですね まだまだかかわり不足です。	
16	とてもいい活動をしていると感心しました。	
20	地域共生社会が理解出来ました	
21	松川は本当にたくさんのボランティア団体さんに支えられていますが、担い手不足、高齢化などの課題をお聞きして、子育て世代としても新たな動きを起こしていくことが必要だと感じました。	
25	取り組み内容がわかりやすかった。 (ゆきわり草)お弁当 ありがとうございますね。	
28	様々なボランティア団体の存在を知ることができた。今存在するボランティアが町民とつながることが、これからも活躍していただけることにつながると思う。	地域福祉の充実のために、社協は非常に重要な役割だと思う。今後も町民と協働し、頑張ってもらいたい。
30	③ボランティア情報の発信力という課題をクリアすることで①②の課題は少しでも乗り越えられる気がします。	

問5 事例発表、地域福祉時事報告の感想をお書きください。④・⑤

No	④地域共生社会とボランティア 【発表者】松川町社会福祉協議会 地域ボランティアセンター 佐々木彩乃 氏	⑤第5次松川町地域福祉活動計画について 【発表者】松川町社会福祉協議会 地域ボランティアセンター 鈴木勇哉 氏
31	ボランティアの人数不足が問題なのだと聞くと自分たちの問題なのだと考えたい。	活動がもっと分かりやすく、誰にでも取り組めるものなのだとすることを伝えることも大切だと思う。
34	ボランティアと言われてもできそうな事を示さないと何ができるか分からない。	
35	いろいろなボランティアがあることを知りませんでした。もう少し年齢がいたら何かできることがあればと思います。今は自分、家族のことで精一杯です。	
36	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ボランティアグループの内容などに、どの程度かかわっているのか分からないが、(それぞれの活動の見学とかしているのか?)</li> <li>会員数(活動している実数?)とか正しいのかな?と思った。</li> <li>・ボランティア団体のプロデュース力がもっとあるといいと思う。(アピールも含めて)</li> </ul>	
37	いろんな形、活動で子ども、親御さん、高齢者の方々と無理のないかわり方ができていて素晴らしいです。小さい時からいろんな活動にかかわることによって、自然とボランティアの心が育っていく。	様々な活動がある中、これからも基本理念をしっかりとって支えていただきたいです。
38	こども福祉教室は子どもの頃から福祉を学ぶ事ができ、とても良い事かと思えます。無理のない状況ですすめていく事が大切と思えます。相手を思いやる気持ちを育てていければと思います。	福祉活動計画について知る事ができた。

問5 事例発表、地域福祉時事報告の感想をお書きください。④・⑤

No	④地域共生社会とボランティア 【発表者】松川町社会福祉協議会 地域ボランティアセンター 佐々木彩乃 氏	⑤第5次松川町地域福祉活動計画について 【発表者】松川町社会福祉協議会 地域ボランティアセンター 鈴木勇哉 氏
40	若い人もどんどんボランティアに参加していただくとありがたい(高齢化)。小さなうちから関わる事が大事だと思う。 ボランティアは、「できる人ができる事をできる時に」それが長続きする秘訣だと思う。	
43	更なる活動の進展を希望します。	
44	・話し方がお上手ですね。とても分かりやすかったです。これからの松川町社協に期待しています。	
46	おもちゃ図書館、始めて知りました。ボランティアさんが高齢化していることが心配。町民への呼びかけが必要。	
47	仕事をしているとボランティアへの参加が難しいと思ってしまう、何もできていないと感じてしまった。	
48	みんないっしょに仲良くなりが共生社会の実現の基本です。町民皆がその意識を持てるよう、広報が必要と思います。	
49	多くの組織が福祉を支えています。活動報告は必要ですね。	

問5 事例発表、地域福祉時事報告の感想をお書きください。④・⑤

No	④地域共生社会とボランティア 【発表者】松川町社会福祉協議会 地域ボランティアセンター 佐々木彩乃 氏	⑤第5次松川町地域福祉活動計画について 【発表者】松川町社会福祉協議会 地域ボランティアセンター 鈴木勇哉 氏
50	19ものボランティアのグループがあり活動されてきた事、素晴らしい事だと思います。	
51		一緒に整えることに協力します。
52	数多くのボランティア団体の活動を知ることができた。他のボランティア団体の活動も知りたい。	
53	具体的な活動を紹介されてよかったと思います。ゆきわり草の皆さんには感謝です。あいむは、子どもさんに福祉へ目が向くよい活動ですね。この具体的紹介を来年もすると良いと思います。	社協のことの説明大切ですので、お聞きできて良かったです。
56	ボランティアグループの活動を画像と一緒に知れた事が分かりやすかったです。	社協の基本理念を知れて良かったです。
58	私たちのボランティア活動が楽しくできるのも仲間はもちろんですが社協のボランティアコーディネーターさんや社協の職員の皆さんが色々な事に理解があり、人と人とのつながりを大切にしているからと思います。	
59	実態把握されていないボランティア活動がたくさんあるのではないかと。そのことを明らかにするとさらに松川のすばらしさが見えてくる。	具体的な計画になることを期待しています。できる所から住民の声を聞く場を作りましょう。

問5 事例発表、地域福祉時事報告の感想をお書きください。④・⑤

No	④地域共生社会とボランティア 【発表者】松川町社会福祉協議会 地域ボランティアセンター 佐々木彩乃 氏	⑤第5次松川町地域福祉活動計画について 【発表者】松川町社会福祉協議会 地域ボランティアセンター 鈴木勇哉 氏
61	何のボランティアをしているかが見えない事がよくわかり、この点を周知し伝えていくか。	
62	<ul style="list-style-type: none"> <li>•地域共生社会は、人がつながり合うこと、みんないっしょに仲良くする人、「ボランティアは自分のためにもなるんな」と言う方もいる。</li> <li>•おもちゃ図書館、ゆきわり草の弁当配り、あいむ ①高齢化 ②担い手不足 ③ボランティア情報の発信力不足</li> <li>•すべての活動が松川町の財産です。</li> </ul>	
63	<p>たくさんのボランティアのグループの方々が、地域のために長年にわたりご継続されていることに感謝の思いです。会員の高齢化でご苦労されている様子ですが、どうぞ無理のないようにお願いします。私は障害者の会で仲間と共に活動していましたが、高齢化もあり、今までの動き方には無理があるので、できることを、できる範囲でやろうと皆で話し合い、決めました。</p> <p>自分たち、家族では乗り越えられないことが次々出てきますが、町の福祉課、社協などに勇気を出して相談することが大切だと思います。</p> <p>そして、今の高齢化社会だからこそできるだけ老いても心身共にそれなりに元気でいて、若い世代への負担を少しでも減らす努力が必要と思います。</p>	
64	年齢関係なく、役割を持って携われる関わり、高齢だからこそその良さが生まれるといいと思った。	

問6 ①自分の地域や身近な活動の中で、良いと感じる取り組み  
 ②地域の中でこんなお手伝いがほしい、こんな仕組みづくりが必要だ  
 ③こんなお手伝い、関わりなら自分にもできそう

No	①自分の地域や身近な活動の中で、良いと感じる取り組み	②地域の中でこんなお手伝いがほしい、こんな仕組みづくりが必要だ	③こんなお手伝い、関わりなら自分にもできそう
2		以前は女性の集会や、他にも健康維持の集会等あった様ですが、当番になったり役が回って来るとい所が負担で、全て消えてしまった様です。その辺の仕組み作りが課題でしょうか。	
3	自治会の行事 ほんやり 花火焼肉大会	歩道の除雪	ペットボトルキャップ集め
4	自分の本をつくる会		
6	自治会に入っていない人がいっぱいいて、横のつながりがうすくなっている。		出来る事から、まず、ミニミニたんぽぽを、これからもつづけて行きたい。
7		住んでいる地元(域)での生活と未来を信じる事が皆無であることが非常に寂しく思う。	
8	サロン(全員が会員なのでまだ出てないけど出やすいかな)を定期的に行っている。となり近所の方の心配をしあう所毎月常会を行っている所(地区によりほとんど無くなってしまっている)→何でだ?あたりまえだと思うが。定期の集まり、めんどくさいけど、大切な事だと思う 昔からのかわりで、仲良くできていると思う	雪かき、道づくり、等 住みなれた所が良いが、若い人たちは他へ出ていて、1人で暮らす事が大変になると、子供の所に行く人もいる、空家が増える安心して住める集合住宅とかあると良いが、若い人はよそへ行く あたりまえだと思う 不便 かわり深すぎて嫌になる人もいると思う 地域とすると、年の大きい方が多く、若い方が、若くなく大変	近い所の道そうじ 手伝う
12	○ひとり暮らしの方への訪問 ○自治会内で子供・大人一緒に参加○40代の父親の積極的に参加は頼もしい	○役員の担い手問題、次世代に継ぎたいけどいない状況 ○役場の早い対応に感謝(中学校付近の道路)	お弁当配りしたい ○働いている世代は地域のこと、ボランティアもできないが気持ちは続けてもらいたい。順番。リタイアしたらそれから始めれば良い。 ○人生の役割分担

問6 ①自分の地域や身近な活動の中で、良いと感じる取り組み  
 ②地域の中でこんなお手伝いがほしい、こんな仕組みづくりが必要だ  
 ③こんなお手伝い、関わりなら自分にもできそう

No	①自分の地域や身近な活動の中で、良いと感じる取り組み	②地域の中でこんなお手伝いがほしい、こんな仕組みづくりが必要だ	③こんなお手伝い、関わりなら自分にもできそう
15	城北そばの会、そばを作って配っている。 食べる会をやると良い。 身体を動かす事、スポーツ、行く所があるのが良い。	道の駅を作りたい 農業を手伝ってほしい	
16	・そばの会・すんき・食べる会・自治会のイベント(部奈)・カップインワン・踊りの会 さつき会・社協のフリースクール		
17		1人暮らしの方の見守り ご近所の方とのつながりが大事、自治会内？お年寄りと(保育園)の子どもたちとの関わりの機会をつくってほしい	
18	・高齢の方がニュースポーツを広めるために意欲的に取り組んでいる。情熱は年齢に関係ない。	・高齢独居世帯が多い。特に女性。シェアハウスとまで行かなくてもシェアランチとか...	・役職が終れば余裕も生まれるかも。今は手一杯。
21	最近、不登校で悩むで悩む保護者の方の親の会の動きや新たな取り組みが活発になってきていて、「学校のあり方」「多様な学び」をみんなで問い直していくことは大事な視点だと感じます。	気楽に集まり、話せる場を増やす。多様な就労、学びの選択肢づくり。(若者や子育て世代を含めて)	インクルーシブな価値感をもつこと。自分の中の「常識」をいつも問い直す姿勢。何事も主体的に関わり、考えようとする事。
22		障害者にとって「親なき後」の生活が一番不安です。障害をもって、不安の生活をしている人への援助を安心して受けてもらえるよう力を入れてほしい。	
25		・にない手をつくる仕組みやきっかけ ・それぞれの点と点の活動が線でつながる事が大切。	

問6 ①自分の地域や身近な活動の中で、良いと感じる取り組み  
 ②地域の中でこんなお手伝いがほしい、こんな仕組みづくりが必要だ  
 ③こんなお手伝い、関わりなら自分にもできそう

No	①自分の地域や身近な活動の中で、良いと感じる取り組み	②地域の中でこんなお手伝いがほしい、こんな仕組みづくりが必要だ	③こんなお手伝い、関わりなら自分にもできそう
27	私の勤めている親愛の里には、ときれなくボランティアの方々がいらしてくださっています。習字、料理、写真etc.得意な分野を生かしてくださっていて、ボランティアが町に根づいていることを感じています。		担い手不足について…何か活動をしなければと常に焦っていましたが、できる時にできることをすることが大切なのだ分かりました。
29	ボランティア活動、福祉活動の充実	地域活動とは違いますが、若い世代が声をあげられるようになると良いのかな、と思います。	福祉人材として、福祉事業所で福祉サービスを必要としている人のお手伝いなら、できそうかなと思います。
30	自分たちで自分の住む地域を環境面、関係を含めて良くしようという意識が高いことにおどろきます。	生東地区では高齢の方が多く、草刈り、買い物など、不自由されている。それを助け合う仕組みがあると良いです。それはボランティアでも報酬がでる形でも、	森林セラピーガイドをやっています。森の中で交流したり、何人かで歩くだけで、建物の中での交流とは異なる関係や雰囲気生まれます。ぜひ お声掛け下さい。
31	近所のお付き合いがある。	活動を発信してほしい。	自分から声をかけて話を聞かせていただくこと。
35	城北→そば作りをして近所に配っている。 部奈→カップインワンというスポーツ。手話ダンスをする場所がある。	若人がどれだけ地域にかかわっていけるかが大切です。	
37	人口減少に伴い、活動にも支障が生じている。	北小の子どもたちの減少がとても心配。 上片桐地区に、何か一つ大きな施設(“道の駅”みたいなもの)を検討してもらえると、人口増加の一因になっていくのでは…	まずは自分の周りの人たちを大切にかかわりを深めていく。
38	本日の発表の「おばちゃん」。とても新鮮な気持ちになりました。	一人ぐらしの高齢者。寂しいという声を聞きます。出ていきたくても出ていられない…	・読み聞かせ ・あいさつ運動

問6 ①自分の地域や身近な活動の中で、良いと感じる取り組み  
 ②地域の中でこんなお手伝いがほしい、こんな仕組みづくりが必要だ  
 ③こんなお手伝い、関わりなら自分にもできそう

No	①自分の地域や身近な活動の中で、良いと感じる取り組み	②地域の中でこんなお手伝いがほしい、こんな仕組みづくりが必要だ	③こんなお手伝い、関わりなら自分にもできそう
39	ボランティア連絡会	傾聴ボランティア的なコミュニケーション活動が充実してくると良いと思う。	読み聞かせボランティアならできそうです。
40	まずは知る事(どんなボランティアがあって、どんなことをしているか)。それによって、できる事から(小さな事でも)始めていけばいいと思う。	自分の自治会ではサロンが今休会中でやっぱり人と会って話すという事は、大事な事なので、開けるように何か始められたらいいなあと思った。	
41	城北→そばの会@500円 部奈→古平さんのカップインワン 常会の中で行事をする		何かお手伝いできることがあったらぜひ言ってください。
43	議長、そばの会でそばをサロンの会へ配布する8日間。 すんきを食べる会を実施した。 40~50代の男性が自治会へ協力的でうれしい。		宮沢屋のあと利用。 町の活性化がほしい。道の駅はどうか。
44	自分の住んでいる地域で守られていること、護られていること、継承されていること、それを知っている方々を尊い、地域全体で様々な行事に取り組んでいるところがとても良いと思っている。		このような集会、研修にたくさん参加して、横のつながりを多くして、情報をたくさん収集し、自信もスキルアップして、地域に広めたい。
45	改めて地域にあって「地域共生社会」の意義		
48	・サロンがあり時々集まって老化ぼけ防止の役割を担っていると思う。連絡係が必要だが、熱心にやっているこれもボランティアかと思う。		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ゴミ出し</li> <li>・送迎</li> <li>・話相手</li> <li>・朗読ボランティア</li> </ul>
49	ふれあい広場は大切な事業だと思う。		北小のペットボトルキャップの取り組み等は協力できたが情報をつかめなかった。町全体として協力したかった。

問6 ①自分の地域や身近な活動の中で、良いと感じる取り組み  
 ②地域の中でこんなお手伝いがほしい、こんな仕組みづくりが必要だ  
 ③こんなお手伝い、関わりなら自分にもできそうだ

No	①自分の地域や身近な活動の中で、良いと感じる取り組み	②地域の中でこんなお手伝いがほしい、こんな仕組みづくりが必要だ	③こんなお手伝い、関わりなら自分にもできそうだ
51		自治会活動は親睦行事を行うことが目的ではなく、地域のつながりのきっかけを作るための組織として、 <b>入会金</b> の負担などは軽くする事も入会し易くなる。 <b>役員</b> ができる人ができない人をカバー(支援)する。 ※□は課題のキーワードです。	挨拶、声かけ(これもボランティア)が大切だ。→コミュニケーション→共生
52	•あいさつをする •組合活動があること	近所での声かけ。昔のように遠くの親戚より近くの他人になれるといいなと思います。	ボランティア活動を知り、これならできそうと思う活動があり参加したい。
55	あたたかい気持ちで、お互いに協力し合う、思いやる気持ち→お互いを尊重する気持ちが大事。		
56	サロン活動は、地域に根ざしていい良いなと感じました。	福祉団体同士の交流や、一緒に取り組みが少しずつ増えていったら良いなと感じました。	草取り、子ども達の学習を補助すること、工作(美術)のワークショップ
57	様々なボランティア団体によって人と人がつながっているんだと改めて感じました。	松川町にたくさんのボランティア団体がありますが、意外と知られていないように思います。ボランティア団体の活動をもっと知ってもらえる場があるといいなと思いました。様々な場所でボランティア団体の方達とつながることができたらと思います。	
59	今日の分科会(4グループ)で知っているかどうか聞いてみたが、皆さんあまり認識しておられませんでした。他のグループでは知っている方はどのくらいおられたのでしょうか？		4グループで発表しましたが、ボランティアの松川概念を考えていきましょう。きっと今考えているより広い広い考えが生まれるはずですよ。どんな概念になるか楽しみ。どこかで考えましょう。

問6 ①自分の地域や身近な活動の中で、良いと感じる取り組み  
 ②地域の中でこんなお手伝いがほしい、こんな仕組みづくりが必要だ  
 ③こんなお手伝い、関わりなら自分にもできそうだ

No	①自分の地域や身近な活動の中で、良いと感じる取り組み	②地域の中でこんなお手伝いがほしい、こんな仕組みづくりが必要だ	③こんなお手伝い、関わりなら自分にもできそうだ
60	町内ではないが、豊丘村の買い物支援は好感がもてます。車の運転ができない村民のため、パルムというスーパーがバスを借りて、地域により曜日を決めてマイクロバスで送迎している。予約もいらないので、利用しやすい。		
63	<ul style="list-style-type: none"> <li>•えぼしの会:男性(おじいさん)も参加されている様子で良いことと感心しています。声をかけられたり、誘われないと男の人は特に参加する勇気が出ないと思います。ちなみに、うちはまだ失礼していますが。</li> <li>•松川町内で32もサロンがあるようでもとても良い事だと思います。自治会の中で顔を合わせる機会でもあり、町内の様子なども知る機会で大切だと思います。</li> </ul>	災害多く、高齢化、少子化が進んでいるゆえ、自治会の役割も大切です。しかし自治会員が減っている様子です。若者への負担が重くならないような自治会の在り方を考えてほしいです。	住民が、民生委員の方にお知らせしてつなげることも大切と思いますが、近所の人、気になった人にちょっと声をかけたり、挨拶をしたりすることもとても大切と感じています。今の時代スマホがあれば人と話さなくて、気を遣わなくて、煩わしくなくて良いという若者も多いと思いますが、人間は孤独は悪くないけど、孤立はよくないです。お節介ばあさんも必要と感じます。
64	コロナ禍で地域活動、コミュニティが減少、近所の方とお会いする機会が本当に少ない。顔の見える関係をつくる機会の大切さを感じます。	顔が見える機会。参加しやすい交流の場。	日常に無理なく、選択できる関わり。

●その他

No	その他
7	第5次地域福祉活動計画の報告をもう少し厚くして、グループでの話し合いで深めるような会にしてほしかった。
8	ステージ上のセッティングの交換大変でした。見ている側とすると、「そのたんび大変だ」と声を聞きました。おつかれさまです 自治会に入らない 組に入らない 大変 楽です。でも、つながり、何かの時 災害とかあったら、ムシされるでしょうね。人とのつながり無いと 人間は 生きる上で大切だと思う どこかでほしいと願っていると思います。 困った時だけ助けてほしいのか？それはムリだ。
9	食を通しての集まりを開いてほしい(ソバ・五平餅会) ○新井の街に公共施設をぜひ！○道の駅をぜひ！○部奈を売り込め！○カップインワン(年寄り向けスポーツ)を広める○80・90代集まって自分達で手話ダンスの会を開いている○行政に頼るばかりではダメ 発表者はマイク近くに控えていた方がよいのでは。グループ発表は必要か…。
16	たくさんの方々の参加を見て、関心の高さを痛感しました。いろいろな立場や考え方があると思いますが、交流し合い、情報を共有したり、意見を交換したりすることが大切だと改めて感じました。
17	多くの方の参加でいろいろ多方面な話し合いができてよかったと思う。 自治会について話が出たことにとっても興味あります。
18	グループ1が13人と多く、間仕切りがないので遠くの人の声が聞きとりにくかった(高齢のせいかも?)。
20	多勢の方の意見を聞いたり話が出来たりして良かったです。立派な集会が…社協の方やスタッフの方に感謝します
21	たくさんの方が参加されていて町のために考える機会を持てて、とても良い時間でした。「福祉」という言葉は少し難しい？(団体がつながるハードルが上がってしまう?)かと思いました。
22	「福祉」の原点に立って、町民ひとりひとりの安心して暮らせる町づくりをきめこまやかにやってほしい。
27	とても充実した会でした。ありがとうございました。

●その他

No	その他
28	運営委員や集会そのものが、閉じられた団体のように感じる。町の少子高齢化やボランティアの担い手が減っているが、若者が入りやすい空間ではないように思う。
29	福祉を考える会運営委員会などのメンバーとして、もっと、若い世代が集まり、意見しやすい場であると、活発な意見交換ができるのではないのでしょうか。
31	皆さんいろいろの取り組みをされていて素晴らしいと思いました。 ちよこっとボランティア、できる人ができる時にできる事に取り組むことで認識が深まる事もあるのではないのでしょうか。
32	<ul style="list-style-type: none"> <li>•集会の経過の10ページについて、別綴りにして必要な方のみの配布にしたらどうでしょうか。</li> <li>•今年度の”ふれあい広場”の折、来賓の方々が各ブースを誰一人として訪れることがなかった理由を知りたい。</li> </ul>
34	<ul style="list-style-type: none"> <li>•福祉:生活の安定充足。人々の幸福で安定した生活を<u>公的</u>に達成しようとする事。 →負担なくできる仕組み作りを考えて 松川町の福祉は他の町村より<u>何が</u>進んでいる？</li> <li>•元気センター:中身がよく分からない。城山に人が来るのか？行きにくい場所ではダメだと思う。立地は大切。</li> <li>•”共生”は大切。でも”強制”はムリ。今の時代に合った活動を。</li> <li>•負担にならない活動でないと、今後さらに先細りする。</li> <li>•「サロンの活動」って何だ？一言そこから説明してよ。</li> </ul>
35	先輩方々がみなさんボランティアや地域にかかわっておられて素晴らしいです。高齢者の方でも自分たちのできることを見つけて、していることも素晴らしい。
36	<ul style="list-style-type: none"> <li>•12:30～は時間が早いと思った。</li> <li>•「みんななかよく」という中で、熱意の差があることに関する寛容さ、人と人の距離感は一それぞれ、ということは大切だと思う。今回参加している人の中にも差はあるし、来ていない人との差はもっとあると思った。</li> <li>•ボランティアやボランティアグループ存続のために、何をするか、どうするか、ではなく、「何に対してボランティアが必要か」がまずあってのボランティアだと思う。</li> <li>•ボランティアグループの必要とされなくなったものはなくなり、新しいものができる流れは必要だと思う。</li> </ul>
37	多勢の人の参加があり、改めて色々なことを考えさせられました。良い機会に参加でき、ありがとうございました。役員の皆様、お疲れさまでした。
39	ありがとうございました。

●その他

No	その他
40	<ul style="list-style-type: none"> <li>・多勢の方が参加してくれてよかった。やっぱり皆と会って話をする、という事は大事な事だと思う。</li> <li>・書記の発表もその場でマイクフル形式でやった方が時間の無駄がないと思う。</li> </ul>
41	社協の皆様、いつもお世話様になります。
42	<ul style="list-style-type: none"> <li>・色々のボランティア活動すばらしい。</li> <li>・各々のサロンでも目には見えないが、大事なみんなのつながりを絶やさないようにがんばっています。</li> </ul>
43	<ul style="list-style-type: none"> <li>・すんきを食べる会は珍しい。</li> <li>・部奈の古平さん、カップインワンのスポーツ。</li> <li>・手話ダンス、お茶のみ会、手話を習っている、「今日行く所がある」が楽しい人生につながる</li> </ul>
44	今日は素晴らしい機会をありがとうございました。次回も楽しみです。
45	マイクの使い方、発表者の話し方、ゆっくりとした口調で。
46	町長のあいさつに元気センターに関わる話(老人福祉センター改修設計費否決)が出なかったことは残念。ハローミヤ跡地にもどすべき。あのままでは公害だ。
48	<p>集会の開催に敬意を表します。</p> <p>町民の福祉への意識は高いのだが、町政が元気センター建設撤回など全く理解が無いと感じる。町民側から行政教育をする必要性あり。</p>
50	事例発表も良かったが、話し合いの時間を多くした方が課題が見つかるように思う。地域共生社会の根本は、一人一人の気持ちから、心遣い、思いやりだと思う。
53	<ul style="list-style-type: none"> <li>・多くの方が集まれて本当に良かったです。</li> <li>・マイクの使い方が後半よくなり、ありがたかったです。</li> <li>・社協、役員の方々ご苦労様でした。</li> <li>・発表の一つ一つが広がってほしい内容で良かったです。</li> </ul>
54	<ul style="list-style-type: none"> <li>・報告会ではなく、もう少し生の声の聞ける集会が良いと思いました。</li> <li>・地域共生社会、言葉だけがひとり歩きしているような気がします。分科会で「子どもから老人まで話す」ただ集まるのではなく、それを誰が、どこが運営するのか。それが大切。</li> </ul>

●その他

No	その他
57	地域共生社会という言葉がひとり歩きしているように思います。松川町が目指す”地域共生社会”とは？そのために具体的なプランとは？みんなが同じイメージ(ビジョン)を持てると方向性がブレないのではないのでしょうか。
59	親愛の里に町内からたくさんのボランティアが来てくれる。職員としてその方たちに接すると自分もできるようになったら何かしなければと考える。—いい意味での教育をされている。
61	<p>リニアが現実的になりつつある現在、飯田下伊那の筆頭である松川町は大きな期待があると思います。しかしコロナによってここ4年すべて空白が生まれ、人の集まりも遮断され、自治会の運営もままならない時、いかにここから正常に戻していくか、大変時間がかかるかと想像します。反面、すべてがリセットされたのを幸いに、いかに他のためになる事を主導にしていけるか、ボランティアにかかわる人をいかに増やしていくか、まったく新しい時代がくる予感がする中、個々の力が大変大事になると思います。個々の力と自然に生まれるリーダーの役割が大きく、人助け、困った隣人の少しでも力になる手伝いが大事。それには日常から自身の健康、ここが一番大切と思います。</p> <p>健康で元気にいて人の助けに動けるか、ここから出発するのが原点と強く感じます。</p> <p>本日は素晴らしい会合集会に出させていただきありがとうございました。</p>
63	<p>高齢者支援、障害者支援も大切ですが、若者たちが少しでも希望を持って働き、家庭を持ち、子育てができる。その事を国をあげて早急に取り組んでいただきたい!! 松川町が元気になってほしい!!</p> <p>分かりにくいと思います。思ったことを連ねました。</p> <p>※社協のヘルパーステーションの”こんにちは訪問” 10分程度の訪問… はとても嬉しい事と思います。皆さん心配事をだんだん話されて、支援の在り方などが見えてくると思います。遠方にいる子どもさんにとって、安心できる一歩と思います。</p>
64	<ul style="list-style-type: none"> <li>•小学生の映像、音声に雑音が入っていて聞き取りにくかったため、もう少しクリアだとありがたい。</li> <li>•受付の町内、町外などの紙、見やすい位置に検討が必要と思いました。</li> <li>•参加者の方が階段を上がってキョロキョロ。分かりやすい環境の工夫が必要と感じました。ろうあの方への対応も。</li> </ul>

# 小グループごとの 話し合いの記録

\* 集会当日、8つの小グループに分かれて  
話し合っていたいただいた際の記録です。

グループ	1	司会 佐々木 孝子	書記 橋本 多津男
参加者構成			
■民生委員	1名	■役場関係	2名
■福祉推進員	2名	■社協関係	2名
■町議会関係	名	■ボランティア関係	3名
■一般	名	■学校関係	2名
			計 15名

○北小学校の児童の成長に驚いたとの発言が多数

- ・場を得れば大きく成長する→与えてあげることが大事
- ・小さな頃からボランティア活動を身近に感じる事が大事
- ・ペットボトルキャップがどうしたらワクチンになるか説明が不十分

- ・手話も大事だがITの活用が必要
- ・自分ができることから始めないと人とのつながりは出来ない
- ・「おばちゃん」は声掛けの成功事例
- ・手話を通じてつながるには強い意志が必要
- ・「あいむ」で小さな頃からの経験の体験の大切さを痛感した 参加した職員にも良い体験

→広域的な取り組みに出来ないか

- ・行政はどうしても縦割りだ。連携が大切だ。
- ・他のボランティアに参加することも大切
- ・少子化も地域のつながりの希薄化を進めている→Hugさんのフリースクールに注目している
- ・小さな組織の声を聞くことも必要
- ・「みんな仲良く」の実践例で、皆でとりくむことの大切さを痛感した
- ・立派な言葉はハードルが高い。身近なことから始めたい
- ・小中学校まではやってくれるが…それから上が途絶えてしまう 中間層がない
- ・子育て世代は、産休、育休で、案外動ける

→活動できる場を開発出来ないか

・今日、午前中、「カップインワン」の大会があり、小学生と高齢者がチームを作り仲良くやっていた 体験の場の提供を図りたい

・小中学校まではボランティアに参加してくれるが、高校生、大学生、20代・30代の参加が乏しい

・公民館活動でも同じ。その世代に、例えば祭りのゴミの片付けをやってほしいと声掛けしたところ、応じてくれた。ボランティアと言えは硬いので、小さなことから始めれば

- ・弁当配りをやっているが、お礼の言葉が励みになる 受ける側の反応も大切→つながり
- ・ボランティアが高齢化している バトンタッチする人がいない

→安心してやっていられない どうしたら継続できるか

- ・若い人に声をかけられない
- ・身近な人に声をかけて引きずり込むしかない→高齢のまま
- ・地元で大学生・専門学校生がいない その世代がいれば働きかけることができるが
- ・皆に知ってもらうことが大切 方法の工夫を
- ・福祉に関心のある人には、何らかのキッカケがある

→今、不登校や発達障害のお子さんの若いお母さん方が熱い これを生かせないか

- この集会に出ていない、様々な「芽」が各地に芽吹いている
- この「芽」を注意深く拾い集めるのも担い手不足、高齢化の対策となる
- 昔からの所謂「ゆい」の精神が大事だ
- 世の中「お互い様」だから、できる人ができることを。困ったら、助けてもらう。それが基本だ

○その他

集会の開始時間が中途半端。変更してほしい。

グループ	2	司会	北原 紀子	書記	杉山 さおり
参加者構成					
■民生委員	名	■役場関係	名	■医療関係	名
■福祉推進員	名	■社協関係	1 名	■福祉事業所関係	5 名
■町議会関係	1 名	■ボランティア関係	名	■その他	名
■一般	3 名	■学校関係	1 名	計	11 名

- ・アンサンプルの職員は、集会に参加しているが、自分は、15年ぶりに参加をした。
- ・地道な活動が長く続いていることに感謝している。共生社会を言われる今、皆でふれあい、集まれる機会を多く持つことが大切だと思っている。
- ・学校では、ノントンの会に来てもらい、子供たちへ関わってもらっている。コロナで活動が中止になっていたが、少しずつ地域に開かれた学校に戻りつつあるところ。
- ・自分は、あいむの活動に関わっているが、地域の事や他のボランティア団体の事が知れた。
- ・自分は、長く福祉を考える集会にも参加しているためか、今回の発表は、報告会だと感じた。具体的な話を聞けると良かった。
- ・精神障害者家族会を平成 29 年に立ち上げ、24 年になる。精神障害は、気づいていても言えずにいる家族がいる。本人や家族が動いて立ち上げた家族会である。グループホームや通所事業所もできてきて、行政も一緒になって活動してきた。 少子高齢化が進んでいて、色々な会やボランティアの存続が危ぶまれている。真剣に活動をししないとボランティアだけではなく、町も国も立ち行かなくなってしまう事を心配している。74 歳になってもできることはしたいと思う。 行政の取り組みは山ほどあると思う。
- ・読み聞かせのボランティアをしてきた。できる事から活動を継続していきたい。
- ・親愛の里は平成 9 年に開所した重度の知的障害の施設。地域の一員として参加できることをしていきたい。
- ・松川町の施設に務めて 5 年になる。初めての参加。多くのボランティアグループがある事も知らなかった。
- ・消防団は、仕事を持ちながら地域のために団員となって活動してくれている。ボランティアのグループとは違うかもしれないが地域のために活動をしているので、今日のような集会にも参加してもらえると良いのではないかな。 消防団に対する認識も必要。
- ・元気センターの運営者は誰になるのか？7 億のお金をかけて建物を作っても責任を持って経営をしていくことができなければ無駄になるのではないかな。町では、特養の建て替えも必要と考えており、お金のいる事が控えている。建物ができて、内容がなければ、人は集まらないのではないかな。
- ・現在、コミカフェは、改善センターで行っているが、和式トイレに洋式便座をかぶせて対応している。狭くて使いにくい。 エコール親愛の子供たちの活動は、場所を変えて行っているが、前の老人センターの時のように、カブトムシを取り自然の中での活動は減っている。 活動場所が変わる事で利用者には不満や負担がかかっている現状がある。
- ・元気センターについては、色々検討をしてくれていると思うが、あちこち方向性が変わるため、何を信じたらいいのかわからない。
- ・元気センターの建設については、平成 30 年頃 子供の居場所を考えることから始まったと思

う。 老人センターにエレベーターが無いいため改修の必要性などの意見も上がっていた。ハローミヤを改修して利用する案だったのが、建て替える案に変わった。

・老人センターを補修して以前と同じように使うにしても、共生社会としてどのようなプランで進めていくかが曖昧だったので、議会では否決になった。

・高齢者にとっても、障害者にとっても、よりどころになれる所が大切だと思うので、今のままでは曖昧な状況なので、少しでも早く方向性を持って進めてほしい。力を合わせて協力していかないと。

グループ	3	司会 矢沢 亜弓	書記 鎌倉 陽介
参加者構成			
■民生委員	2 名	■役場関係	2 名
■福祉推進員	名	■社協関係	1 名
■町議会関係	1 名	■ボランティア関係	3 名
■一般	名	■学校関係	名
			■医療関係 名
			■福祉事業所関係 名
			■その他 2 名
			計 11 名

- ボランティアの高齢化が進んでいる。学生ボランティアは頼もしい。今後のボランティアにつながれば嬉しい。
- 手話の体験、知ってもらえばもっと広がるのではないかな。
- 近所でのあいさつ。声をかける大切さ。  
あいさつや声をかける事により、実際に学校へ行けない子どもと出会ったり、家へ帰る事のできないお年寄りに出会った。
- 小さな活動→共感→広がりになっていくのではないかな。
- ボランティアなどの活動は一生懸命…。より少しずつできる時に参加するのが長く続いていける秘訣ではないだろうか。
- 自治会の役割など、今までやっていた活動がコロナの影響で「やらなくてもいいか…」に変わっている。実際にやってみると大勢の人が集まる。
- 本日の集会のように映像や、実際に話を聞く事で団体の事がわかりやすい。色々な団体をもっと知ってもらおう事が大切。
- 元気センターの話がほしかった。

グループ	4	司会	何原 弓絃	書記	加藤 悦子
参加者構成					
■民生委員	名	■役場関係	名	■医療関係	名
■福祉推進員	名	■社協関係	1 名	■福祉事業所関係	1 名
■町議会関係	1 名	■ボランティア関係	2 名	■その他	1 名
■一般	3 名	■学校関係	1 名	計	10 名

○事例からこれは良い発表と思った部分も含めて意見ををお願いします。

・この街にボランティアを作りましょうという頃から携わって 59 年になります、担い手不足は感じます。

昔はボランティアから本人へ直接連絡を取って行う事もりましたが今は社協がつないでくださっています。

多くの人たちが気軽に行えるそんな町になると良いと思います。

・常は仕事をしておりボランティアといってもなかなか行かない、日赤奉仕団の役割をきっかけで今回初めて

出席しました。町のこういった活動を知ることができたので良かった。

・若ければ参加したいが、目が悪いし私自身お世話になる側に近い状態、ボランティアをする側と言うのは難しい。今オレンジカフェへ出掛けていますが楽しいと感じています、家にいるばかりでつまらない、若い衆とはなかなか話せない事もある、自分の思うことや吐き出せる場所など出掛ける場所があるという事は嬉しい、

人と話をするという事はとても大切、人と話をしたことでつながる事が沢山ある。

・今回福祉を考える集会に行ってみようかなと思い役場に相談したら迎えに来てくれた、私みたいな人が他にもいると思う、包括の方でもっと踏み込んでもらえるが良いと思った。

・最近近所付き合いがダメな気がする、家にばかりいては TV だけで何も話がない。年代に関わらず集まれる場

所ができると言い、近所の集まりの大切さプラス、知らない人との交流ができる場所があると良い。

・(上町)自治会のサロンは風前の灯、新規の加入者が居ない、メンバーから開催してという声もかからない、サロンの位置づけは大切、人と話をして頭を使うそれこそ介護予防につながると思う。発信や焚きつける人の存在、参加できる人達だけでも繋げていかないとと思っています。

・親愛の里に勤めています。ボランティアが大勢来て来てくれています、奉仕団や登録ボランティアだけでなく、趣味などの作品の展示など地域の方が途切れずに来て来てくれています。松川町はボランティアが根付いているととても感じています。

・スイートボイス会員の方が小さいお子さんを連れて来てくれる、その事でお年寄りの方の表情が違ふ事を感じます、その事も十分大切な関わりであり皆さん様々な立場で関わっていると感じています。

・ボランティアを行うと言っても、農繁期は忙しい農閑期であればと思うが、今は定年が引きあがり 65 歳以上

の方もおられる、お勤めや家の事など様々、75 歳過ぎてくると自分の事で精いっぱい、まして 80 過ぎると…けれど先日同窓会の役員を行いました、それもボランティアだったなと思いました。

- ボランティア横づな をしています、名子地区が多いためもっと広まったら良いと思います。
- 現在子育てがひと段落し、これからボランティアがやれる時が来るのかなと感じます。
- 「ボランティアやるぞー」というのではなく小さなことでもボランティアとして繋がっている、子供のうちから関わる事で、大きくなっても助け合って生きていく事に繋がる。ボランティアというものの概念をもっと広く持っても良いと感じる、何か特別に参加して活動する事だけがボランティアではないのでは。
- やれる時にやればいい、みな意外とボランティアと思わずにやっているそれなら私でも出来るかな、他にもできるかな、できる時にできる事が良いと思う。
- 地域を知りたいという気持ち、地域と仲良くして自分が安定して暮らす、そういった場所づくり町づくりの必要性を感じます。

グループ	5	司会	大澤 ユリ子	書記	片桐 真紀
参加者構成					
■民生委員	2名	■役場関係	名	■医療関係	名
■福祉推進員	名	■社協関係	2名	■福祉事業所関係	名
■町議会関係	1名	■ボランティア関係	2名	■その他	名
■一般	1名	■学校関係	名	計	8名

【問5】事例について 北小

ペットボトルキャップの収集について、子どもたちの言葉で「最初は大変だと思ったが、やってみたらやりがいを感じた」「キャップを集めることがエコロジーで環境にも良いと思った」を聞き感じたことは、今の子どもたちは部活や塾で忙しいと聞いています。そんな環境の中でも活動に参加してもらい、1つ1つのキャップを数えることは大人でも大変な作業なのに、周りの人たちにも声をかけ、たくさんのキャップを集めてもらったことはすばらしいと思いました。ぜひこの行動を通して町の福祉活動に興味を持ち、実践することが皆が助け合える共生社会にもつながると思いました。

【問6】について

今回のテーマとは少し離れてしまいましたが、地域についての話をすすめるうちに自治会の存続についての話になりました。

せっかく外の地域から町内に入っても、自治会に入ってくれない。自治会の行事は区費などからまかなっていますが、例えば、自治会に入らないが行事には参加してくる子どもたちにどう対応すれば良いか。地域によってはもう活動が難しくなっている。すぐに答えが出る問題ではありませんが、今後の課題として話し合うことが大切。

また、現在入っていない人たちにもこの問題を知ってもらうことが大切だと思いました。

グループ	6	司会 市原 すみ子	書記 林 和子
参加者構成			
■民生委員	5名	■役場関係	2名
■福祉推進員	名	■社協関係	1名
■町議会関係	2名	■ボランティア関係	名
■一般	1名	■学校関係	名
			計 11名

- 森林セラピーガイドの仕事をしている。観光のみならず Hug やあすなろに通っている子供たちを、森へお連れする機会が増えた。意図せず福祉に携わるようになりやってみると、自分自身どんどん福祉への関心が高まってきた。福祉への思いが無い方にも声をかけ、巻き込んでいくことが大切かなと思っている。
- これだけのボランティア団体が町内にあることを知らなかった。関心や目を向けることもなかった。宣伝する機会が無いのでは…。今回の集会で知ることができて良かった。
- 健康寿命を延ばすことが大切だと思う。いくつになっても自分の足で歩くことができるように、健康のためと思って日々生活している。人と人が関わるのが大切で、自分から積極的に動くことを心がけている。書籍の販売があり、いい本を買うことができた。それだけでも今回の集会に参加した甲斐があった。
- 人と関わることを日々、沢山している。ボランティアとしての形があって、活動の結果を出さないといけないのか？形を求められると、取り組むことが難しくなってしまう。隣近所の人と話をすることから気楽に始めるなど、形を重視するのではなく、自然と行えることを大切にしてほしい。小さい子供のうちから、色々な人と関わる機会を増やし、自然とボランティアに取り組めるようにしたらどうか。その方が、長くボランティアを続けられ、大人になってから町民を支える立場になれるのではないか…。
- 民生児童委員になって初めて、ボランティア団体が沢山活動していることを知った。事例発表のなかの、おばあちゃんと中学生の交流の話が大変印象に残った。ちょっとした交流から変わることもあると感じた。あいさつと書かれた紙を肩から下げて毎朝、通学路に立ち子供に挨拶していた方がいた。自分にできるちょっとしたことから始めていけば良いのではないか…。
- 人口減少を大変危惧している。生田と生東の公民館が無くなったが、これは生田だけの問

題ではなく、いずれ町内の他の地区でも同じ状況になるのではないか…。

公民館は地域の助け合いの拠点である。存在しなくなることは憂慮すべきことだと思う。小学生の頃から地域での活動を行うことで、学校だけでなく地域の中で生きているということを感じ、地域に目を向けてもらう。そうすることで、大人になってからも地域とつながる活動を行ってほしい。ボランティアも自然の形で小さい頃からは行うことが大事ではないかと思う。小さい頃から、人を育てることが大切だと思う。

- 城北地区は160戸程で構成されているが、児童から高齢者までまとまりがよく、自治会への未加入や脱退が少ない。50代の人数が多く、小学生も30人いる。卓球大会を行ったり、防災についての関心も高い。サロンも元気よく活動している。自治会でまとまっていくんだという考えを持ち、住民の皆さんにもそう呼びかけている。地域共生社会という考えを既に実践しているように思う。課題としては、自治会役員のなり手がいないこと。
- 人口減少問題は喫緊の課題だと思う。20代の男女が少ない。町の魅力として、自然豊かな…と言われるが、国内には自然豊かな場所は沢山ある。もっと魅力的な特徴をつくっていかなければならないと思う。平均寿命はとても高いが、健康寿命は県下でもとても低い。血圧が高く脳梗塞で亡くなる人が県下で2番目に多い。健康寿命を高めることが大切である。“2.3gの会”が石鹼を作っているが、減塩活動も行っているのか…？  
今回、松川北小の児童による事例発表があったが、北小を残したいという思いがある。小中一貫の学園化構想があり、施設設備を集約して経費を削減し、なるべく費用を教育にかけたいという方向になってきている。
- 宗源原ではサロンの役員を福祉推進員が務めてくれる。年に数回サロンを行っていたが、コロナでできなくなった。来年度から活動を再開したい。10年くらい同じ人がサロンの役員をしている。集まって昼食、談話、ゲームなどをする。談笑できる楽しい機会である。地区内に恵方巻と豆を配ったり、打ったそばを配った。また、ストレスについてのパンフレットを配ったりした。福祉推進員は車の送迎など協力してくれる。様々な活動が終わった後には必ず、やって良かったという感想がでる。生東地区のみつばつつじの会では、取り仕切る人が大変で辞めたいという希望があるが、役員の受け手がおらず困っている。負担のない形で活動ができたらいいと思う。
- 自治会への加入を避ける人がいる。役員を強制されるのが大きな理由。50代で役員がまわってくると、仕事の兼ね合いで難しい。子供が学校を卒業したら、組合を脱退する人が多い。行事になかなか参加しない人も多い。自治会役員は色々な活動に駆り出されるため、敬遠される。
- 若妻会も昔は活動が活発で楽しかったが、今は存在しない。子供のことも皆で一生懸命話合った。今はそのような機会もない。そもそも若い人がいない。

- 上片桐地区では役が1年で終わるので、次に繋がらないという声がある。皆、自分の生活に精一杯で、町民運動会もやりたくないという人が大多数。人と関わることに抵抗を示している。時間的にも経済的にも余裕がない。民生児童委員を務めているが、他の委員からは、あまり活動を積極的にしないようにと言われてしまう。次に引き継ぐ人がそこまで活動ができないから歩調を合わせるようにと釘を刺されてしまう。どこまで踏み込んだらよいのか分からない。
- 自治会を続けていけるのか…。高齢世帯が増えた。町外に出て行った子供の世代が帰って来ない。人と人とのつながりが希薄になってきてしまった。
- 堤原は50軒あるが、柔軟な形でサロンを行っている。全体でサロンをするのではなく、小さな集団で活動しているサロンもある。一つの集団として大きなサロンをまとめるのは大変。皆が参加できるサロンにする必要があるので、あり方は柔軟に考えている。社協からバスも借りられてありがたい。
- 宗源原では組合加入している戸数が、240戸から89戸まで減少してしまった。以前の4割を切ってしまった。高齢者が増え、役員のみなり手がいない。今にふさわしい自治会のあり方を検討する必要がある。強制しない。役員に報酬を出す。多様なあり方を検討し、緩やかなつながり方をどうキープするか、模索している。
- 元気センターについて  
地域共生社会の拠点になるのでは…。なぜ建たらないのか。
- 町長より  
スタート時点で、町の中の意見が半々に分かれていた。場所の選定の議論もなく、ハローミヤの跡地があるので、町が買った。6年という時間があったにもかかわらず完成しなかったのは、不安に思うことがあったからではないか…。1回きちんと話し合わなければいけないのではないかと。先日の議会で老人福祉センターの改修の費用が否決されたので、これで全くの白紙に戻った。老人福祉センターは今後、町が使っていく施設。町が、ハローミヤの跡地を使うという結論に至れるような資料を作り、誘導してきた節がある。話をゼロに、元に戻し、熟考することが必要。当初2億と予測していた経費が、現在では7億を超えている。今後、もっと費用がかかることが予想される。このままこの話を進めるのは町としてまずいのではないかと。今までの活動は、色々な施設を使いながら行ってきた。元気センター建設について賛成の人も反対の人もいる。地域共生社会とは、共生の町づくりができていく社会のこと。誰もが住みやすい町にしていく。そのためには、保健センターがないという問題や子育て支援センターおひさまの場所が分かりにくく道に迷ったり、雪が降った時には行けないという問題も考えていかなければならない。

- 6年間もあったのに、福祉を考える集会で元気センター建設について一度も話し合われてこなかったことが、この問題をきちんと考えてこなかったことになるのではないか…。ハローミヤ跡地がたまたまあったので、元気センターを当てはめただけではないか…。老人福祉センター使用不可と判断した時点で話を戻してしっかり考えることが必要ではないか…。
- 元気センターに入って活動したい団体の利権争いになってしまったように思う。

## 第 41 回 福祉を考える集会 記録

グループ	7	司会	竹内 恵美子	書記	宮下 理佳
参加者構成					
■民生委員	1 名	■役場関係	名	■医療関係	名
■福祉推進員	2 名	■社協関係	2 名	■福祉事業所関係	1 名
■町議会関係	1 名	■ボランティア関係	3 名	■その他	3 名
■一般	1 名	■学校関係	名	計	14 名

### 【自己紹介・感想】

- ・担い手 次の世代に…を考えた時。北小の発表は素晴らしかった。活動を通して子ども達に『つながる』『かかわる』土壌を整えるのが大人の責任ではないか。そうすると、一回町を出てもまた戻ってきて活動できる子になっている。
- ・もう少しボランティアが増えてほしい。若い人たちに参加してほしい。
- ・高齢者のお弁当作りをしているが、物価高が影響して大変になってきている。
- ・ボランティアと構えずに自分の身近で自分のできることをすればいい。若い人に参加してと言っても、今は生活するために働かなくてはならない。
- ・自分もまだまだ働かなくてはならないので働いている。病院関係で仕事をしているが、福祉バスが充実していない。
- ・フルタイムで働いていてボランティアまでできていない。チョイソコ使いづらいとお母さんが言っている。
- ・一般です。兄が脳出血で倒れてしまった。この会で何かきっかけが見つければと思って参加した。
- ・ボランティアと聞くと大変なことと思っていたが…。
- ・小学生の話聞いて、自分が子どものころにはそんなこと考えてなかったなあというのが実感。
- ・傾聴ボラを始めて今年で 10 年。今、活動しているのは 4 人。自分は子供がいなくて 2 人ぐらし。夫婦どちらかが悪くなった時、誰かに助けてもらえるようにボランティア貯金をしているって感じです。

### 【問6をふまえて】

- ・城北だが、もう 20 年くらい地域でそばを作って、そば打ちをしている。八日会というサロンに配って食べてもらい、会員は夜 500 円で食べ放題。サロンにも今はきれいな包装紙で包んでお配りしているがとても喜ばれている。
- ・木曾で働いていたことがあり、すんき漬けをいただく。今年は婦人会などに声をかけてすんきそばにしたらとても喜ばれた。
- ・食べることは誰にも必要なこと。人とのつながりにはとても大事なこと。

↓

- ・人としゃべらず一日中家にいたと言うことが無いようにしたいものだ。
- ・部奈に カップインワン(古平さん)というゲームを広めたいと活動されている方がいる。今日も実は第 1 回目の大会があった。
- ・広小路は 25 世帯、一人ぐらしの高齢者も多い。

パレスの先生は手話ダンスをしていて、お茶飲み会もしている。「今日行くところがある」  
というのは楽しみになる。

**自分たちで人の手を借りずにやる・できると言うことはいい事！** 行政の力を借りるのもいいが**自主的にやる**  
大事なことだ。

・コロナ禍でやれなかったことが戻りつつある。

「久しぶりだから出るか。」で近所の人たちと話ができたり、どこに子供たちがいるのか知ることができたりする。  
地域のイベントがあつたら出ていくことが大切。城北には40～50代の男性がいて、この  
地区をどうしていくといいか考えてくれて頼もしい。

町の中には、民生委員の受け手がなく、いない地区もある。地域の担い手を作っていく  
事が大事。

・いろんな世代にはその世代の役割がある。

働いているときにはできなかった。➡でもその先にかかわれる時が来たらという気持ちを持っていてくれたら  
…。

QOL 人生をいかに豊かにするか

私は、学校を学びの場としていない子供たちと過ごしているがいずれ「地域の役に立ちたい」と思ってくれる、  
そんな子供たちの為に頑張りたい。土壌を育てたい。

ボランティア      できることをできる範囲でやる

↓

自分を育ててくれること

いろんな意味で、人が自然と集まれるにぎやかになる場所が欲しい

グループ	8	司会 原 節子	書記 前沢 麻美
参加者構成			
■民生委員	1 名	■役場関係	1 名
■福祉推進員	1 名	■社協関係	2 名
■町議会関係	名	■ボランティア関係	3 名
■一般	1 名	■学校関係	名
			計 15 名

○自己紹介

- ・役場の方：北小の取り組みはすばらしい。ぜひこれからも継続してほしい。他の学校にも広めてほしい。
- ・一般の方：自治会に入らない人が増えている。地域のつながりのもとだと思う。会費が高い、役員ができないという理由もある。でも育成会の行事で子どもを分ける事はできないから自治会に入っていない家庭の子も参加している。
- ・医療関係の方：自分も子育てをしている。北小の子たちのような子は松川にはたくさんいる。大人達はどうか？意欲ある子ども達が、大人になり、地元に戻りたくても仕事がなく、どんどん地元を離れてしまう。松川を良くしていく事も自治会を良くしていく事につながるのではないかと思う。
- ・役場の方：地域構成は、町でも考えている。今はテレワークで働ける事も増えている。町の良いところをPRしていきたい。1ターンの受け入れもしている。
- ・2.3gの会の方3名：最近の家庭では油の処理をどうしているのか？昔は連絡があれば廃油を取りに行ったり、直接持って来てくれる人もいた（高齢になり今は持って来られないが）。この頃は、ほとんどない廃油が集まらず困っている。学校、保育園、飲食店は業者と契約していてこちらでは回収できない。以前は、保育園で回収させてくれたが、業者と契約したと断られてしまった。役場の方でなんとかしてもらえないか？
- ・産廃業者の方：自分は産廃業をやっている。廃油の回収は業者が行うよう義務付けされているので、個人では難しくなっている。
- ・2.3gの会の方：自分たちは環境、健康問題のための取り組みとして活動している。活動はこれからも続けていくつもりでいる。しかし、後継者がいない。どうしたら良いのか？
  - ・それぞれ各家庭でも油の処理を話す
  - ・家では油を多く使う料理をしない（揚げ物など）
  - ・健康を考えて油を使わない。少量しか使わないようにしている。
  - ・スプレーで油を使ったり、フライヤーを使って調理している
  - ・廃油があっても少量なので固めてゴミに出している
  - ・家で揚げ物をすると片付けが大変なので惣菜を買っている。
- ・2.3gの会の方：様子を出し合っていると、「最近の人は料理しないんだねえ」と言われる。
- ・役場の方：「それも時代の変化である。廃油が出ないのも変化の一つ」と言われる。
- ・医療関係の方：ペットボトルキャップ集めのように子ども達に興味を持ってもらう活動をしてみたらどうか。子どもを巻き込めばその親達にも関心が出てくる。廃油で作る石けんもリサイクル活動になる。
- ・民生委員の方：廃油石けんで洗濯をするとボロボロのタオルがふわふわになるとテレビでやっているのを見た。娘に話すと、「そんな事知ってるよ」と言われ、びっくりした事がある。アトピーにも良いとの事。関心を持っている親もいて使っている。野菜の苗に

かけると虫が寄って来ないなど、廃油石けんの良いところをもっとPRしてみたらどうか。

時代に合った活動をしていく事が良いのではないかという話で終了した。